

第3回 法科大学院（法曹養成制度）の評価に関する研究会 議事要旨

1 日時 平成22年8月10日（火）14:00～16:00

2 場所 総務省第3特別会議室（中央合同庁舎第2号館11階）

3 出席者

（構成員）谷藤悦史座長、郷原信郎座長代理、コリン P. A. ジョーンズ委員、
櫻井敬子委員、三上徹委員、山田昌弘委員

（総務省）階総務大臣政務官

田中行政評価局長、新井官房審議官、松本評価監視官、城代政策評価審
議室長、細川調査官

4 概要

○ 法曹人口の拡大及び法曹養成制度の改革に関するこれまでの検討経緯と関係府省の改善方策の実施状況等について、事務局から資料の説明があった。

その後、法曹人口の拡大及び新たな法曹養成制度（法科大学院・新司法試験・新司法修習）に係る現状と問題点、課題等に関する各委員の問題意識について、意見交換（フリートーキング）が行われた。

○ コリン P. A. ジョーンズ委員から9月以降海外研究のため、研究会への出席が難しくなる旨説明があった。また、本テーマに関する同委員の問題意識が述べられ、各委員と意見交換が行われた。

○ 次回の研究会では、法曹人口の拡大及び法曹養成制度の改革に関するこれまでの検討経緯と関係府省の改善方策の実施状況について、主な事項を中心に更に掘り下げた検討を行うこととされた。

また、関係者のヒアリングについて、各委員の意向を伺いながら、可能であれば、次回の研究会から行うことを視野に入れて、検討・準備することとされた。

※ 速報のため、以後、修正の可能性がある。

（文責 行政評価局 法務、外務、文部科学担当評価監視官室）